

## げんきが だいすき

# キンダーブック1 3月号



ジャングルでゴリラのお父さんと子どもたちに出合いました。お父さんのたくましい腕にぶら下がって遊ぶのは楽しそうですね。1年間いろいろな動物が表紙に登場しました。どの動物が好きだったか、ほかにどんな動物といっしょに遊びたいかなど会話を広げましょう。



## いっしょに やろう

**ねらい** 困っている友だちに声をかけ、みんなで楽しむ場面をとおして、自分たちの成長を感じましょう。



「うさまるくんたちはみーこちゃんが困っていることに気づいたみたいだね。こういうとき、みんなだったらどうする?」と問いかけましょう。

みーこちゃんが困っている理由を友だちに話せたこと、くまたくんがどうしたらいいか考えられたことに注目します。  
みーこちゃんの表情の変化から、気持ちの変化を想像してもよいですね。



「みんなでうたえて楽しそうだね」と伝え、友だちと協力するとできことがあると気づかせましょう。



あはなし

想像力を  
養おう



## ずっとなかよし

いっしょに遊んだ友だちをたいせつに思う気持ちに共感しましょう。



ねらい

「年長さんが卒園してしまうことをどう思う?」「小さい友だちが来ることはどう思う?」と問いかけてみましょう。年長さんの卒園を寂しく思う気持ちも、新しい出会いを楽しみにする気持ちも、どちらもたいせつにできるとよいですね。



じょいく

食に興味を  
もとう

## なにを つかう?



ねらい

食べ物によって食べやすい食具があることに気づかせます。



つかいの  
ヒント

誌面左側のスプーン、フォーク、お箸の写真を隠して「何をつかって食べるかな?」とクイズにして楽しみましょう。ほかにもいろいろな料理を挙げ、どのように食べるか考えてみましょう。お箸に挑戦するきっかけになるとよいですね。

## 「キンダーブック1」を保育にご活用ください!



### 絵本をつかった指導計画の文例

#### コーナー



#### 子どもが経験すること

- クラスや園全体の行事に参加する。
- 友だちといっしょに行動することを楽しむ。
- 友だちが困っていたら助けようとする。
- 困っていることをことばで説明する。

#### 保育者の配慮

- 行事やその練習の際には、「楽しかった」「できた」という気持ちがさらなる意欲につながるような声かけをする。
- とまどっている子に「いっしょにやってみようね」と声をかけ、安心して参加できるようにする。
- 友だちといっしょに楽しめるように、そばで見守りながら、友だちと関わる場面が増えるようにさりげなく支援する。
- 「なんて言えばいいのかな?」といっしょにことばを考える。

#### 5領域



- 食具の種類を知る。
- 料理によって適した食具が違うことを知る。
- どの料理に何をつかうか考える。
- 実際に食具をつかう。

